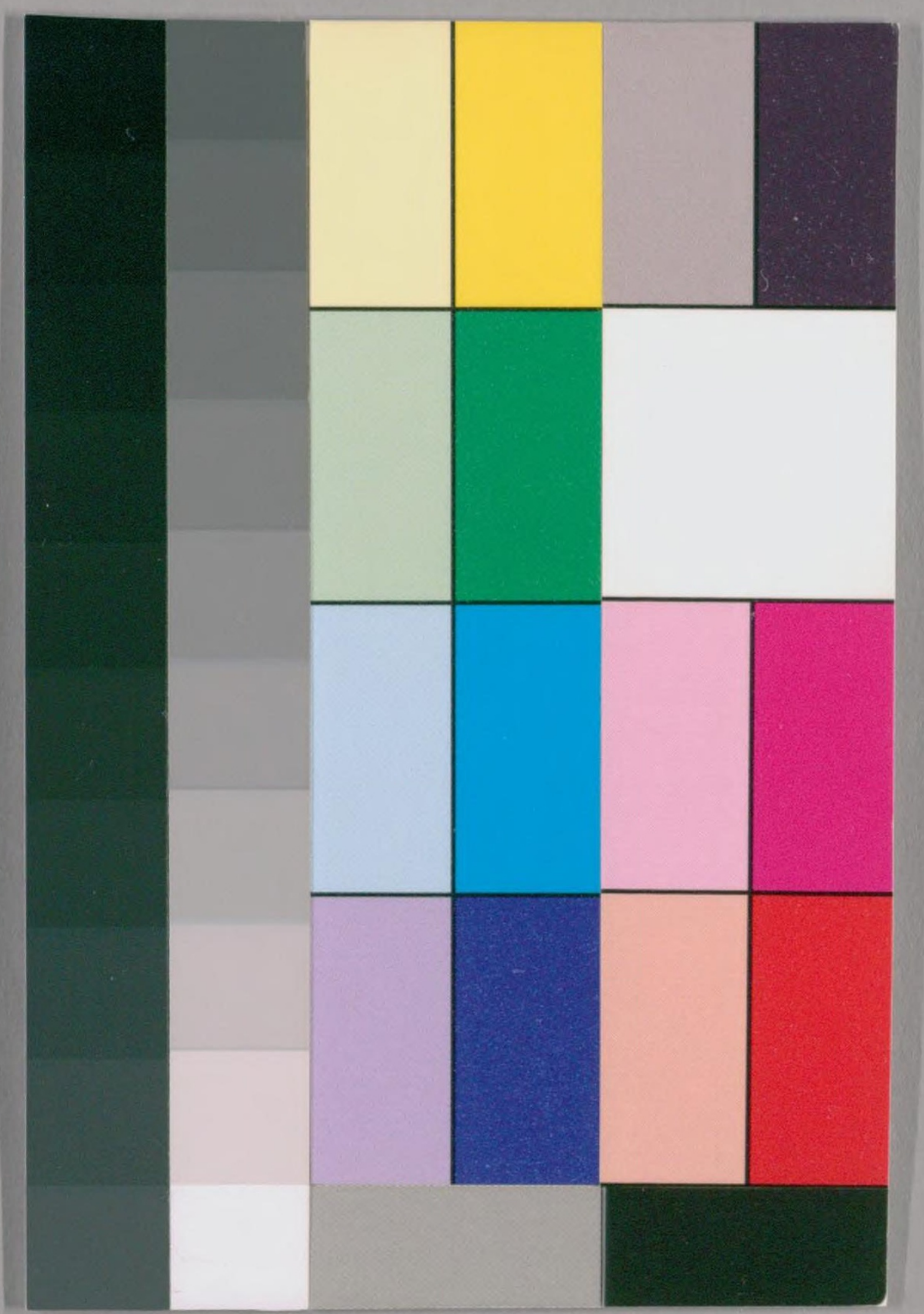
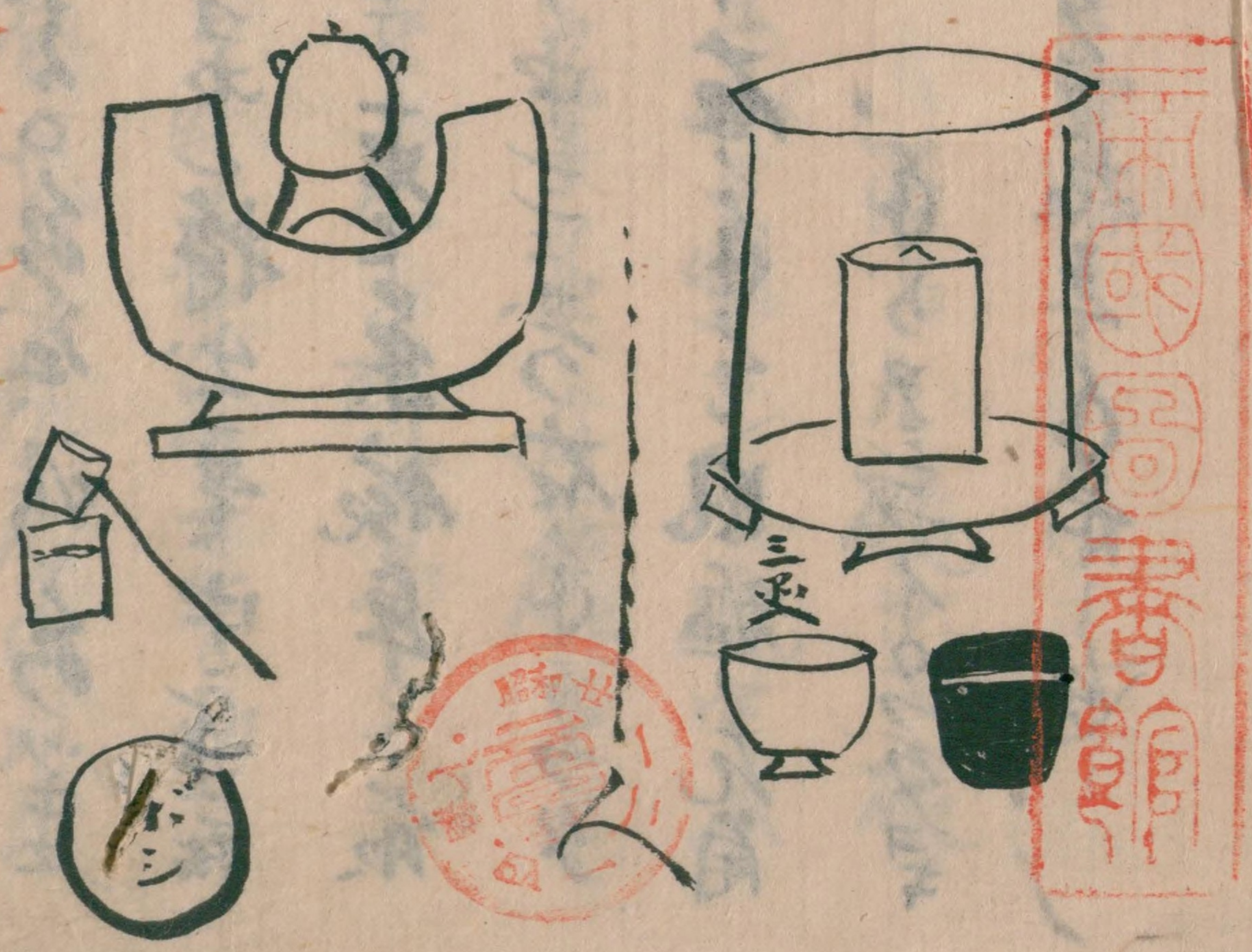


858  
13

取扱  
注意  
帳入

858  
13

○結玉湯丸者  
○板者通り  
○他三ツリも希云



右ヶ根ニカサリ付有対ふ。水入まヨリカコイホ。先帛ヲ九等ニサケ左ニテ車ニ茶碗卓と前  
カサリ付ま分も帛タイヲ中ニシテ右ニテフタ  
ニテ茶碗ヲ角ニシテ右ノ手ニテ風爐ノ角  
ノ上ニカケルま分礼ニテ○タテ根平○前

右ノ仕立茶碗事

先ノ茶碗ヲ九等ニ洗茶巾ヲ九碗フキ碗ヲ  
トシ重○帛巾改メ碗ノ中ニ入○茶ニ九碗中入  
右ノ手ニテ帛巾ヲ九等ニ分ク右ノ手ニテ進碗  
右ノ手ニテ茶碗ノ上ニテ茶碗ノ上ニテ茶碗ノ上ニテ  
帛巾ヲ九等ニ分ク右ノ手ニテ茶碗ノ上ニテ茶碗ノ上ニテ  
右ノ手ニテ茶碗ノ上ニテ茶碗ノ上ニテ茶碗ノ上ニテ



先極の旨時よりあるもこの也、蓋重入枚屋を造りて  
申三スワリあるも此とナリ海にまのまが九年工を  
申し候もこの又タイヲ丸申三エ去る不枚屋の  
丸右のミライ石子にて蓋重を造りて凡極の角重を  
まが造りて

△伝書

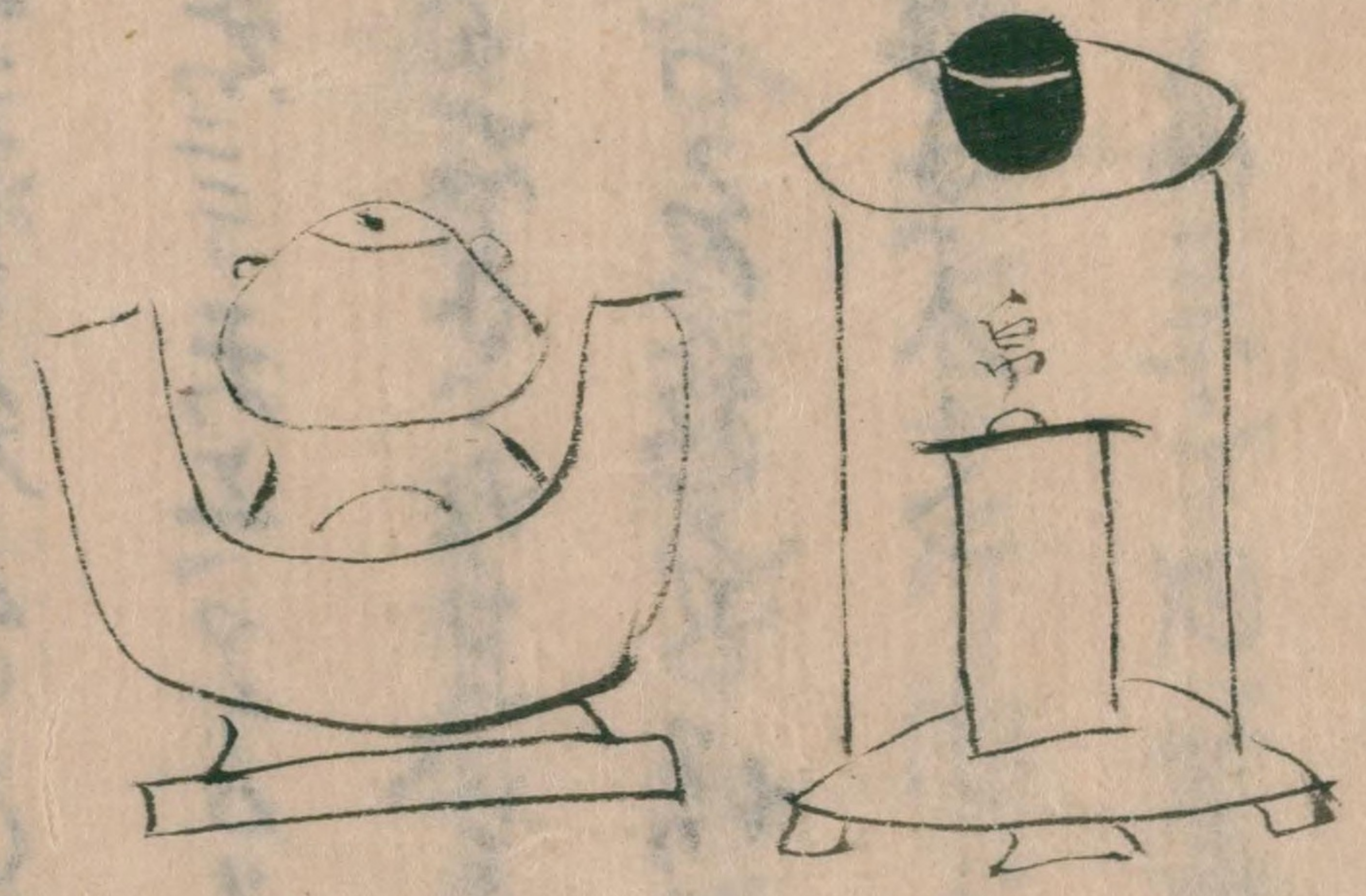
考也三テ申し候九年ノ前ニ元々此の如きナリ

初ヨ丸水部ニ管工ナリ丸工を中へ管工ナリ  
枚屋重の丸果ニ冬△のも前タイ九年ノ三エ  
考申し候右右ニテ考工、アケの又タイヲ申三エヨリ  
初ヨ丸水部ノ分右の、丸中へ蓋重を造り入る果  
考申し候之の丸果丸水部、アケルも前  
丸水部持之牌ノ入



三

陽返十三



信抄冬公

右之杯、方時、茶碗、茶入、持、中、茶、

二斤、細、候、主、の、帛、を、下、に、中、に、居、り、

重、た、子、を、下、に、居、り、左、に、候、右、に、

三、寸、身、を、力、サ、リ、夫、不、立、ぬ、ホ、に、

且、中、に、居、り、時、に、杯、を、行、事、者、通、の、

右、

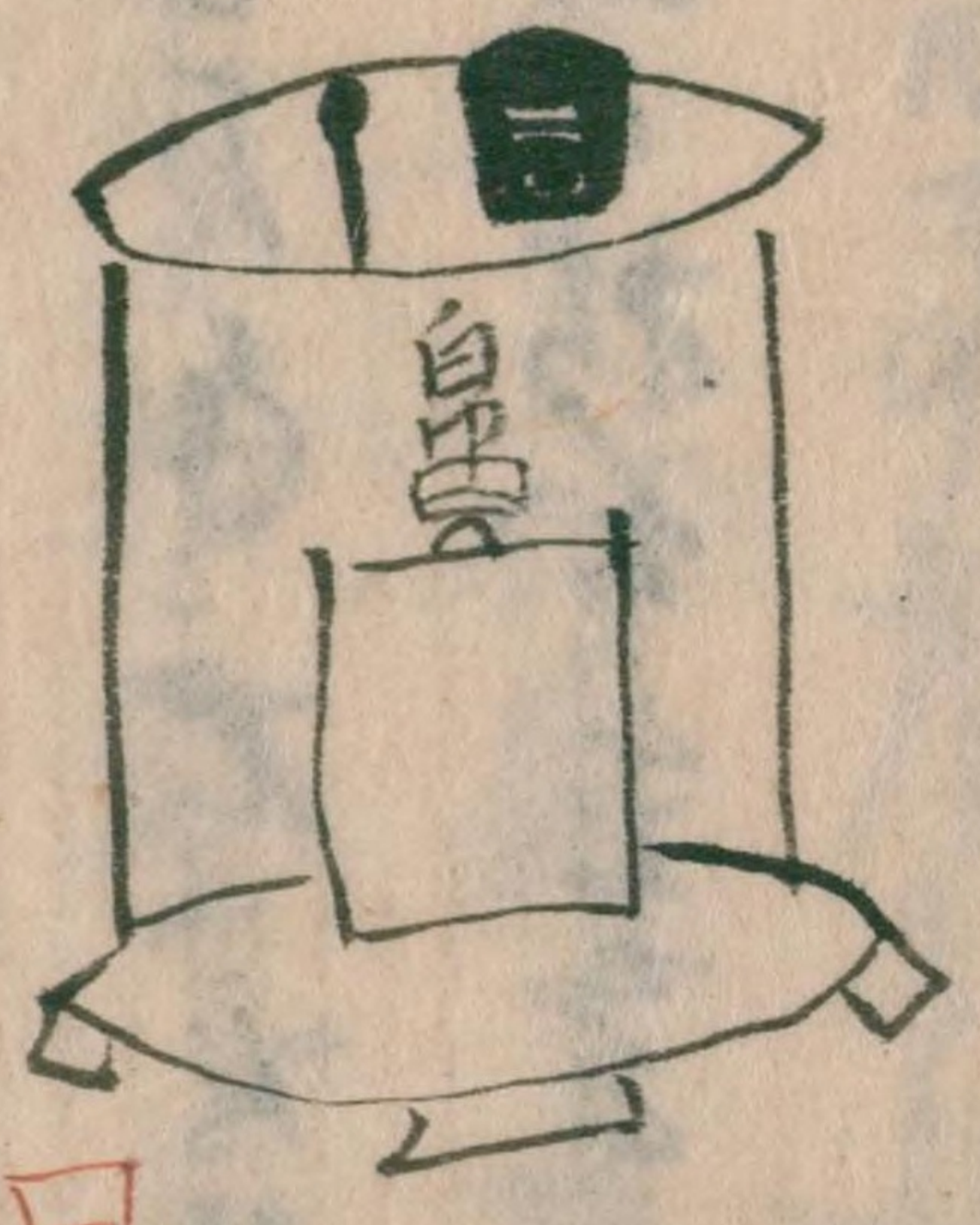
右仕舞



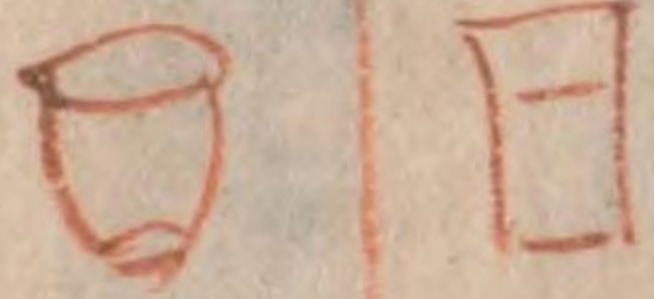
茶也茶杵中の候をエマセ石子ニテ電  
 在エテウのゴホニエ向の帛一和夕ニキのゴホニ  
 リ多帛ちりの杵ヲ答の所増茶杵ニテ  
 又杵ヲホシエタムムノ候ヲヒサ片腰ニ部ノ重  
 申ス茶杵カラウ申スチチニル九年ノ上所有  
 上テマ介杵ヲカチニカヘコホニサ持立候  
 持立ノ取カヘチチ持立ノ候ニ係汁持立

糸持カハ帛茶杵上ノカケん糸持立

回

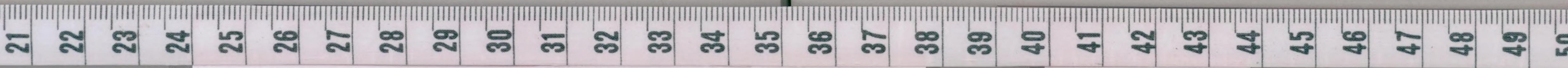


〇湯色ニシ  
 〇中仕マ



〇蓋金タノホ流ニ遠有

〇仕舞杵カチ



花ノ枝ノ有付テハ後ハ茶ノ葉ニ入付ル中  
ニテハ後ニサテ後ノ主ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
重クハ年ノ前ニ主ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
アテニハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
夫ノ主ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
極クハ也

信條抄

ある茶ノ引茶ノ帛酒ニサケル茶ノ葉ノ  
蓋ノ枝ノフタスルノ茶ノ葉ニ入付ル中  
エタニハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
扱有テニテ重クハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
有テニテ重クハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
ニテハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中  
有テニテ重クハ後ノ茶ノ葉ヲ入付ル中











5<sup>re</sup>  
4



*[Faint, illegible handwritten text in a cursive script, possibly Japanese or a similar East Asian style.]*

